

は、高島市物産振興協会に地場産品の販路拡大のための全国展開を委託し、24年度は7回延49日間、全国の百貨店の催事に出店されています。今後も「びわ湖源流の郷たかしま」を発信する地産外商の取り組みとし積極的に推進します。

問 「有害鳥獣対策事業」について、駆除作業従事者の高齢化や担い手の育成が緊急課題であるが、その対策は。

答 一人でも多くの担い手が育つよう、免許取得費用に対する助成を引き続き行います。また、本年度より西部・南部の4市で広域的な協議会を作り、センサー等の機能を備えた大型捕獲罠を用い、対応に当たっています。

問 豊かな自然と豊富な地域資源がある高島市こそ、6次産業化に適した所はないと考えています。市の自然共生型の産

業づくりの計画には、多くの事業と多額の予算が継続的に組まれていまます。民間的な発想で貴重な税金を有効に活用するためには、抜本策として6次産業化による市の産業の振興を図るべきと考えます。そこで、市における「6次産業化」の取り組みの実態と方針を伺います。

答 本市では、アドベリ1の生産加工をはじめ、米粉ヨーグルト、イチジクジャムなど、規模の小はありますが10品目ほどが製品化されています。6次産業については、地域産業の振興戦略の一つに位置付け、生産から加工、流通、販売、情報・観光サービスなどを有機的につなぐ中で、産業部門での相乗効果を高めたいと考えており、引き続き滋賀県中小企業団体中央会や地元商工会などと連携を密にし、施策展開をしていきたいと思っております。

問 市原子力防災計画案が示されたが、避難場所や方法等で全市民を守るには無理がある。最善の防災は原発をゼロにすることは。敦賀原発直下の破砕帯が活断層と判断されたように、安全な原発はない。市民を流浪の民にしないために原発即時ゼロの立場を明確に。

答 政策部長 避難場所については県内での受入調整を行っており、さらに県外の受け入れ先の確保にも努めています。「原発ゼロ」については、原発事故は二度とあってはならないことですが、経済活動への影響、新エネルギーによる電力の安定確保、雇用問題等の現実的な対応として、徐々に原発依存度を減らしゼロにしてい

問 今後、ますます子ども局の充実を図るには、どういったことを考えていくべきか。

答 保育・教育の向上を継続していくことが必要です。また、教育委員会とのつながりを緊密にし、子どもを守り育てる社会の構築を目指します。

問 教育委員会以外の部署と連携・発信していることがあれば、どの部署にどういったことで連携されているのか。

答 子育て支援の立場から、男女共同参画・若者定住促進について市民活動支援課と、「女性」と「子ども」部門の人権施策で人権施策課と連携しております。

問 課題として認識していることはどういったことがあるのか。

答 「就学前児童の就学への円滑な引継ぎ」や「少子化対策」への取り組みが課題と認識しています。

問 今後、ますます子ども局の充実を図るには、どういったことを考えていくべきか。

答 保育・教育の向上を継続していくことが必要です。また、教育委員会とのつながりを緊密にし、子どもを守り育てる社会の構築を目指します。

問 県道小荒路牧野沢線とマキノ支所前市道との交差点は、道路構造上問題があり事故が多発している。県の責任で早急に道路改良を。

答 土木交通部長 県や警察署と安全対策について協議を行い、注意喚起看板や路面標示を実施しています。今後、回転灯の設置やガードレールの変更など、より安全な交差点になるよう関係機関と協議し対策を進めます。

問 中庄駅から深清水間の道路は幅員が狭隘で、軽自動車でも通行が困難。地元の声聞き早急に改修を。

答 本道路は以前事業実施に向け、関係区と協議を行いました。賛同が得られず、事業延期をしております。現段階では、一部農道を含むことから改良は困難な状況にあります。

問 県道小荒路牧野沢線とマキノ支所前市道との交差点は、道路構造上問題があり事故が多発している。県の責任で早急に道路改良を。

答 土木交通部長 県や警察署と安全対策について協議を行い、注意喚起看板や路面標示を実施しています。今後、回転灯の設置やガードレールの変更など、より安全な交差点になるよう関係機関と協議し対策を進めます。

問 中庄駅から深清水間の道路は幅員が狭隘で、軽自動車でも通行が困難。地元の声聞き早急に改修を。

答 本道路は以前事業実施に向け、関係区と協議を行いました。賛同が得られず、事業延期をしております。現段階では、一部農道を含むことから改良は困難な状況にあります。

安全対策が進むマキノ地域の交差点



来年度開園に向け着々と整備されるこども園

問 子ども局は、教育委員会と福祉の壁を無くす、また赤ちゃんをお腹に宿したときから中学卒業まで、連続して見守りたいという目的があり、大きな期待をしております。子ども局の担う重要度は、将来の高島市を考える時、非常に大きいと考え、次の点を尋ねます。

問 設置後2年が経過していますが、どういったことが良くなったのか。また、成果があがったのか。

答 教育委員会以外の部署と連携・発信していることがあれば、どの部署にどういったことで連携されているのか。

答 子育て支援の立場から、男女共同参画・若者定住促進について市民活動支援課と、「女性」と「子ども」部門の人権施策で人権施策課と連携しております。

問 課題として認識していることはどういったことがあるのか。

答 「就学前児童の就学への円滑な引継ぎ」や「少子化対策」への取り組みが課題と認識しています。

問 今後、ますます子ども局の充実を図るには、どういったことを考えていくべきか。

答 保育・教育の向上を継続していくことが必要です。また、教育委員会とのつながりを緊密にし、子どもを守り育てる社会の構築を目指します。

問 教育委員会以外の部署と連携・発信していることがあれば、どの部署にどういったことで連携されているのか。

答 子育て支援の立場から、男女共同参画・若者定住促進について市民活動支援課と、「女性」と「子ども」部門の人権施策で人権施策課と連携しております。

問 課題として認識していることはどういったことがあるのか。

答 「就学前児童の就学への円滑な引継ぎ」や「少子化対策」への取り組みが課題と認識しています。



百貨店で販売される市の特産品

問 「特産品販売促進事業」のこれまでの取り組みの成果と今後の推進策は。

答 産業経済部長 「特産品販売促進事業」

問 「特産品販売促進事業」のこれまでの取り組みの成果と今後の推進策は。

答 産業経済部長 「特産品販売促進事業」



子ども局設置の成果と課題を質す

澤本 長俊 議員



「自然共生型の産業づくり」を質す

山川 恒雄 議員